

＜随筆＞

栄村の植物と私の大切なヒメカイウ

The plants of SAKAE Village & my valuable *Calla palustris*

大 平 仁 一*

春の鳥甲山の南東には、北アルプスの山々に咲くキヌガサソウ (*Paris japonica*) やシラネアオイ (*Claucidium palmatum*) の群落がまだまだ残されていた。私はうれしかった。

それはさておき、栄村の山々にはヒメカイウ (*Calla palustris* : 写真1) の自生地があった。ある夏行って見ると花が咲いていた。まるで小型の水芭蕉みたいでそれと間違えたほどだが、どこか葉の型が違った。そしてその年の秋にも行って見た。そこには(水芭蕉とは)違った実があった。赤くてきれいな実で、葉は小さく枯れていた(写真2)。家に帰り市の

図書館へ行って調べてみると「ヒメカイウ」と分かる。

その次の年、木島の高倉山へ登ると、頂上付近の湿地帯にも「ヒメカイウ」の群生が少しあった。同じ年、木島の小さい塚には、キツネノカミソリ (*Lycoris sanguinea*) の群落があり、私を喜ばせてくれた。その時モリアオカエル(卵のう)も多くあった。そしていく年までそれらを残したいと考え写真に撮った。そのヒメカイウをここに残したい。

私は自然とは心を癒すものと思う。いつまでも植物と人間の絆を、いつまでも…

写真1 ヒメカイウ(姫海芋) *Calla palustris*

写真2 秋のヒメカイウ(果実)

* 大平仁一 〒389-2322 飯山市大字瑞穂1166-9